

平成23年度 置戸町行政評価委員会報告

(平成22年度分)

置戸町行政評価委員会

置戸町行政評価委員会報告

はじめに

置戸町にあつては、行政改革大綱に基づく行政改革の取り組みの一つとして、平成16年度に行政評価システムが導入されました。この行政評価は、行政の内部評価と町民による外部評価を取り入れることで、評価結果を町民と行政とが共有し、協働のまちづくりを目指すとしました。まちづくり基本条例のなかでは「町民のための行政」として行政評価が明確に条文化され、第5次置戸町総合計画でも「町民と行政による協働の推進」の実現がうたわれており、これまで以上の住民参加が求められています。

今年度の行政評価は、平成22年度に引き続きの委員会として2年目の評価を行いました。昨年度までの反省やこれまでの経過を活かしつつ、委員会の設置目的、役割を考えながら各種事務事業について議論を重ねました。

本委員会において開催された7回の会議から、委員会としての意見を以下のとおり取りまとめ報告いたします。

委員会の開催状況

平成23年度の行政評価委員会は、下記により7回開催しました。

(1) 第1回委員会【平成23年7月27日】

- ・評価事務事業、評価方法の確認
- ・委員会評価及び意見について協議

(2) 第2回委員会【平成23年8月10日】

- ・委員会評価及び意見について協議

(3) 第3回委員会【平成23年8月24日】

- ・委員会評価及び意見について協議

- (4) 第4回委員会【平成23年9月7日】
 - ・委員会評価及び意見について協議

- (5) 第5回委員会【平成23年9月28日】
 - ・委員会評価及び意見について協議

- (6) 第6回委員会【平成23年10月19日】
 - ・担当部局との意見交換
 - ・委員会評価及び意見について協議

- (7) 第7回委員会【平成23年11月22日】
 - ・平成22年度置戸町行政評価委員会報告書について協議

評価方法について

今年度の評価対象事務事業の選定にあたっては、委員自ら29件の事務事業を選定しました。その内1件については、評価調書にない事務事業について議論を行いました。また、事業を選定する際、過去に評価対象となった事務事業と同じものをできるだけ選ばないように留意しました。

評価については、平成22年度の事務事業に対する委員会としての評価を簡潔に記載しました。主管課評価が適正であると判断し、同じ評価となった事務事業については、委員会としての参考意見を記載し、主管課評価と異なる評価となった事務事業については、その理由を記載しています。

また、主管課評価と異なる評価となった事務事業については、各担当課長とも意見交換を行い、事務事業内容の理解を深めたうえでの評価となるように努めました。

評価内容報告

市町村を取り巻く環境は、少子・高齢化の進行、地域主権の推進、国と地方のあり方についてなど大きく変わろうとしています。また、本年3月11日に発生した東日本大震災の影響は、国の財政だけではなく地域経済に対しても大きく及ぶものと思われます。市町村財政が依然として低迷し厳しい情勢にあるなかで、置戸町においても、

今年度策定された「第5次置戸町行政改革大綱」をはじめとして、これまで以上の行政財政改革に取り組んでいかなければならない状況です。

今回、29件の事務事業について行政評価を行いました。評価を進めるにあたっては、厳しい財政状況にあるなかでも、財政的な面だけではなく、町や町民にとって必要なことは何かを考え、町民の視点で行政評価を行うことで、効率的・効果的な行政運営の推進に役立てたいとの思いで評価を行いました。

個々の外部評価結果については、29件中21件の事務事業が概ね主管課・内部評価のとおりであると判断し、8件の事務事業が主管課・内部評価と異なる結果となりました。主管課・内部評価のとおりと判断した事務事業についても、評価作業のなかで多くの議論が交わされ、その意見を委員会の参考意見として付記させていただきました。これらの意見が行政内部で議論され、見直しのきっかけとなり本年度実施の事務事業や平成24年度予算に反映されることを期待しています。

本年度の評価作業を終え、これまでの行政評価委員会としての課題も整理することで、今以上にこの委員会の活動が、第5次置戸町総合計画が目指すまちの将来像である「自然を愛し、人にやさしいまちづくり」の実現に役立てればと思います。

以下、行政評価の仕組みへの意見や評価を終えて各委員の感想を含め報告いたします。なお、事務事業ごとの外部評価結果については、「置戸町行政評価委員会外部評価結果（平成22年度分）」に記載のとおりです。

■行政評価調書の構成・文章の表現について

- ・自分に馴染みのない事業や短い文章でまとめられていることで、理解しづらいところもあるが、参考資料や説明で内容は理解できた。（4名）
- ・300件の評価調書を読み取るのは大変であり、全体の調書は多すぎる。
- ・調書の内容については概ねわかりやすかった。

■評価対象数、委員会開催回数等について

- ・昨年より件数が増え、事業によっては話し合いに時間がかかるものもあるが、7回の開催は時期的なことを考えると適当であったと思う。（3名）
- ・一件の評価にかかる時間と、評価作業の内容を考えると適当な件数である。
- ・評価件数はもう少し少なくても良いが、事前に学習が必要である。評価事業を厳選することで、もう少し掘り下げた議論ができると思う。

- ・件数としては少なく感じるが、開催回数には限りがあり、一件の評価にも時間を要するため、これ以上の件数は難しい。委員会の時間や回数についての検討は必要と思う。
- ・評価対象数、委員会開催回数は適当と思うが、一回の会議時間が長すぎるように感じた。
- ・事前に説明が必要な場合は、担当課の説明を受けたうえで、評価対象事業の選定を行ってもよいのではないかと。

■事務事業の選定・評価方法について

- ・選定対象となる事業の数が多く、全ての中から選定するのは難しい。(2名)
- ・評価調書のみからの選定なので、内容がわからないまま選定してしまうことがある。選定方法については検討が必要ではないかと。
- ・事務事業評価と政策評価の区別が付きにくい。評価作業を掘り下げると政策評価になりがちとなるため、評価作業をする意識に注意が必要である。
- ・これまでと同じ事業を選ばないようにするのは難しかったが、評価する事業の幅が広がり良かったと思う。
- ・内容を理解するには話し合いが必要であり、ある程度長く時間がかかってしまうのも仕方ないと思う。
- ・委員からの選定だけでなく、行政側からの選定があっても良いと思う。
- ・委員の考え方も違うため、必ずしも評価が一致しない事業もあるが、方法はこのままで良いと考える。

■評価作業を実施して

- ・毎年度行われている評価作業も、ほとんど新年度の事業に生かされていないように感じる。同じことの繰り返しで事業評価自体に意味がない。実績作りに利用されており、この評価を継続するのか廃止するのか検討の時期に来ている。
- ・同じ人が委員を続けると意見が偏ってくると思われるため、様々な職業の人に委員になってもらったほうが良いと思う。
- ・行政の内情を理解すればするほど、評価しづらくなり結論が出せなくなる。
- ・同じような事業が対象となりやすいので、色々な分野の委員を選出してはどうか。
- ・行政評価を通して、町民と行政の方向が近づき、これからの置戸町に役立てば良いと思う。

置戸町行政評価委員会外部評価結果（平成22年度分）

※主管課・内部評価と異なる評価結果となった事務事業については、それぞれの評価内容についても記載しています。

事務事業名	【電子自治体推進事業】総務課
※ 主管課評価	<p>「このまま継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個的個人認証サービスは全国的なサービスとして整備されており、住民に対する確定申告のサービスが稼働している。 ・北海道電子自治体共同運営協議会は18年度から電子申請サービスを開始しているが現行のサービスは紙ベースの申請が主なため今後の動向を見据えて調整する必要がある。 ・LGWAN環境では、回線が後期高齢者医療制度を始めとして、特定健診、福祉関係のWAMNETや緊急通報システム(J-ALERT(企画係))で回線使用がある。 <p>電子自治体の在り方は、町単独では費用面や関連する他団体との関係から無理が生じるため、動向を踏まえながら継続して実施をする。</p>
※ 内部評価	<p>「このまま継続」</p> <p>主管課評価のとおり</p>
外部評価	<p>「その他」</p> <p>町民に対してわかりやすい電子自治体を推進すべき。</p>
理由	<p>電子化を推進し、行政事務の効率化を図ることは理解できるが、共同運営で行っても相当程度の費用はかかっている。町民の目からは見えにくい事務事業なので、電子申請や電子申告などの枠を広げ住民サービスの向上をめざし、町民に対しても電子化の重要性をアピールしていく必要があるのではないか。</p>

事務事業名	【置戸町住民まちづくり活動支援補助金】町民生活課
評価	<p>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</p> <p>地域の活性化に有効な補助金であり、このまま継続すべき。</p>
参考意見	<p>各地区の公民館が中心となって様々な事業が行われてきたが、公民館運営審が一本化となった今、町民が自発的・主体的に活動していくためには有効な支援であり、継続していくべき。既存の団体に対しても、新たな分野に活動を広げてもらえるよう積極的なPRが必要である。</p>

事務事業名	【墓地管理】町民生活課
評価	「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり) 草刈等、環境整備は必要であり、このまま継続する。
参考意見	南ヶ丘霊園については、年々、墓参者が少なくなっているようだ。墓石数も少なく、他の墓地に移設し集約できればよいが、移設費用や所有者の特定、同意など現実的には困難な問題が存在する。南ヶ丘一帯を整備するような必要性が生じないかぎり、当面は現状のまま維持管理すべきである。

事務事業名	【蜂駆除】町民生活課
評価	「このまま継続」(主管課・内部評価に同じ) 安全な生活環境の確保に必要であり、このまま継続すべき。
参考意見	蜂駆除は時として住民の命にも関わり、迅速な駆除を行うことで安全な生活環境の確保が図られている。今後も、駆除を行う受託業者の安全管理にも配慮したうえで、このまま継続すべきである。

事務事業名	【太陽光発電システム設置補助金】町民生活課
評価	「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり) 循環型社会の構築に必要であり、このまま継続すべき。
参考意見	新エネルギーへの関心が高まっているなかで、CO ₂ を排出せず、環境への負荷が少ない太陽光発電は大きな注目を集めている。システム設置には多くの費用がかかるため補助は必要であり継続すべき。また、太陽光だけではなく、水力発電などその他のエネルギーの活用についても補助を検討してはどうか。

事務事業名	【地下水調査委託料】町民生活課
評価	「このまま継続」(主管課・内部評価に同じ) 水資源の環境保全のため必要であり、このまま継続すべき。
参考意見	常呂川の上流域に位置する町として、水質汚染防止には注意を払わなければならない。水資源の環境保全のため継続した調査が必要である。

事務事業名	【広報広聴】町民生活課
※ 主管課評価	<p>「このまま継続」</p> <p>町長への手紙や目安箱の設置により、自宅等にいながらも行政に対する意見や要望が迅速かつ的確に述べる事が可能となったことは、手段として評価できるが利用者が少ない。</p> <p>また、地域懇談会の参加者が特定の人に偏っている感は否めない。</p> <p>これらの施策は、行政と町民との双方向の関係が効果として期待されることから、このまま継続しての実施と考えるが、広く多くの町民に参加してもう方法などを検討する必要がある。</p>
※ 内部評価	<p>「このまま継続」</p> <p>主管課評価のとおり</p>
外部評価	<p>「その他」</p> <p>町ホームページの管理体制を見直すべき。</p>
理由	<p>町公式ホームページ内の情報については、一部古い情報のままとになっている部分が見受けられる。一人の担当者が全てを把握し、情報を更新していくことは困難と思われるので広報担当課との連携のなかで、各課が迅速に情報の更新ができる仕組みづくりを検討すべきではないか。</p>

事務事業名	【馬力だすべえ祭実行委員会補助金】産業振興課
※ 主管課評価	<p>「このまま継続」</p> <p>農業祭（収穫感謝祭）と地場産品の交流の場としての位置づけが浸透しており、地場農産物のPRの場として事業は継続する。</p>
※ 内部評価	<p>「このまま継続」</p> <p>主管課評価のとおり</p>
外部評価	<p>「その他」</p> <p>チケットの販売方法・内容の工夫が必要。</p>
理由	<p>祭り全体としては、多くの人で賑わい盛り上がっているように思うが、会場では町民よりも町外からのお客さんが多いように感じる。理由の一つとして、町内向けのチケット販売が少ないことが考えられる。町外からのお客さんも大事ではあるが、多くの町民に祭りを楽しんでもらうため、チケット枚数や子ども用チケットの導入など、チケット内容の工夫が必要ではないか。</p>

事務事業名	【営農推進対策事業補助金】産業振興課
評価	「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり) 安定した地域農業の推進に必要であり、このまま継続すべき。
参考意見	玉葱や馬鈴薯など各部会での活動により、生産技術の向上や安定した経営が図られている。近年、変動が大きい農業情勢に対応していくためにも生産組織の強化は必要不可欠であり、今後も継続していくべきである。

事務事業名	【果実・園芸作物圃場事業】産業振興課
※ 主管課評価	「このまま継続」 平成20年度から計画的にぶどう苗木の定植、更新を図っており今後も計画的な更新を行い安定したぶどうの収穫を図る。
※ 内部評価	「このまま継続」 主管課評価のとおり
外部評価	「その他」 事業の位置付けを明確にしたうえで、今後の方向性を検討すべき。
理由	新規作物を育て、特産品とするには長い時間が必要であり、必ずしも採算性だけで議論すべきものではない。置戸のぶどうも多くの苦労を経て今に至ることは理解できる。近年、収量も少なく、収支も赤字となっている。現状のまま続けていくべき事業かどうか、その位置付けを明確にする必要がある。以前の行政評価で、ジーガレーベに特化した事業を進めるとしているが、一定の収穫量を確保するには、ぶどうの栽培に適した圃場の確保や栽培方法なども検討してはどうか。また、置戸に適した作物での特産品開発や、町民から意見やアイデアを募ることも大事である。これまでの努力を無駄にしないためにも、現状の改善につながる協議を行うべきである。

事務事業名	【置戸町クリーン農業推進協議会補助金】産業振興課
評価	「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり) 安心・安全な作物のための取組は必要であり、このまま継続すべき。
参考意見	作物に対する安全性については、全国的に大きな注目を集めており、時代の流れでもある。これまで行ってきたようなクリーン農業への取組は必要であり、今後も継続していくべき。

事務事業名	【町有林管理事業】産業振興課
※ 主管課評価	「このまま継続」 町有林の適正な維持管理を行うため、継続して事業を実施する必要がある。
※ 内部評価	「このまま継続」 主管課評価のとおり
外部評価	「その他」 町有林内の道路管理が必要。
理由	町有林内の道路については、草刈や路面の維持管理が不十分で車で走行できない道路も見受けられる。山火事などの災害発生時には、消防車が入れないことも想定される。また、町民の森（ビオトープの森）も雑草がひどく利用しにくい状況があることから、防災上の管理とあわせて定期的な環境整備が必要である。

事務事業名	【おけと湖漁場管理事業】産業振興課
評価	「このまま継続」（主管課評価・内部評価のとおり） 置戸の貴重な観光資源であり、このまま継続すべき。
参考意見	その年の気候などによりワカサギの釣れる量には幅があり、釣り客の人数もその幅に左右される。また、近隣市町村の漁場の釣果により、釣り客の動きも流動的である。そのような状況のなかで多くの釣り客を呼び込むためにも、インターネットや広報、専門誌など積極的に活用し、リアルタイムな情報発信によるPRを心がけてほしい。

事務事業名	【イベント広場管理事業】産業振興課
評価	「このまま継続」（主管課・内部評価のとおり） 様々なイベントに活用されており、このまま継続すべき。
参考意見	イベント広場を造る時から懸念されていたが、広場の雑草が目立ってきている。今後、広場のタイルの歪みや雑草も多くなると想定されることから、定期的な維持管理を行ってほしい。また、イベントでの利用の際、設置場所がぼっぼの裏に位置することから、大通りを通る人が気づきにくい。イベント開催時には、看板の設置などにより表通りの人を誘導できる方法を検討してもよいのではないか。

事務事業名	【町営住宅管理】施設整備課
評価	「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり) 町民の安心した生活の確保に必要であり、このまま継続すべき。
参考意見	空き住宅も少なく、効率的に町営住宅が利用されているが、一部老朽化した住宅も見受けられる。今後も計画的な修繕や改修により、効率的な維持管理に努めて欲しい。

事務事業名	【町道管理】施設整備課
※ 主管課評価	「このまま継続」 ・町道の維持管理のため、今後も継続する必要がある。なお、当分は直営による管理を行うため、直営作業員の確保など現体制維持進めていくが、数年先の将来を考慮し委託の検討も進める必要がある。
※ 内部評価	「このまま継続」 主管課評価のとおり
外部評価	「予算を拡大し継続」 必要な修繕は予算を確保し実施すべき。
理由	各地区の町道については、地域懇談会や開発期成会などからの要望により随時修繕されているが、市街地区では、修繕が必要な箇所の把握が十分にされていないのではないかと。安全管理の面からも、修繕が必要な箇所を定期的に調査し把握したうえで、必要な修繕を計画的に行っていくべきである。

事務事業名	【流雪溝維持管理】施設整備課
評価	「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり) 流雪溝により冬季の交通安全対策が図られており、このまま継続すべき。
参考意見	流雪溝があることによって、交通安全対策は十分に図られている。流雪溝沿線では、早朝から住民により積極的に除雪が行われているが、高齢や空き家、空き地などの理由から、投雪されていない部分もある。現在は、近隣住民の相互協力により対応できているが、将来的にさらに高齢化が進み対応しきれないことも想定されることから、今後の除雪・投雪体制の検討が必要である。

事務事業名	【高齢者通院交通費助成事業】地域福祉センター
評価	「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり) 高齢者の経済的負担の軽減に必要であり、このまま継続すべき。
参考意見	利用者が少ないようだが、町内に病院があることや自家用車を運転できる高齢者が多いことが理由と考えられる。しかし、今後は高齢化により、利用者の増加が予想されるため、制度の周知を図りながら継続していくべきである。

事務事業名	【母子保健事業(早期療育の支援)】地域福祉センター
評価	「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり) 発達に心配のある子を持つ家庭の負担軽減に必要であり、このまま継続すべき。
参考意見	発達に心配のある子どもには早めの対応が重要であり、安心できる早期療育環境の確保のため、このまま継続すべきである。また、最近では児童虐待や育児放棄などの事件も数多く報道されており、置戸のような小さな町でもこのような事件が起こらないとは言い切れない。子育て中の親は常に不安を抱えており、育児に対するサポート体制の確立のため子育て環境を整えることが、重要となってくるのではないかと。

事務事業名	【寝具乾燥消毒サービス事業(介護予防・地域支え合い事業委託)】地域福祉センター
評価	「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり) 高齢者の快適な生活環境の確保に必要であり、このまま継続すべき。
参考意見	高齢化が進んでいくなかで、高齢者に対するきめ細かな生活環境への支援は必要である。利用者は増加傾向にあるが、対象者についても今後増加が予想される。対象者に強制するものではないが、社会福祉協議会へ委託し利用普及を図っている他の支援事業と併せ、より活用しやすいものとなるよう制度のPRや内容の充実を図って欲しい。

事務事業名	【地域自立生活支援事業】 地域福祉センター
外部評価	「このまま継続」 高齢者の状態把握と自立生活の確保に必要であり、継続すべき。
参考意見	高齢化が進み、地域での支え合いは今後ますます必要となってくる。一人暮らしの高齢者も多く、生活状態の把握と自立した生活の確保のため、このまま継続すべき。支援は押し付けるものではなく、対象者によっては遠慮してしまう場合も考えられるため、利用客の声を届けるなどの方法により多くの方に利用してもらえるようPRに努めて欲しい。

事務事業名	【女性会議】 社会教育課
評価	「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり) 女性リーダーの養成に必要であり、このまま継続すべき。
参考意見	町で行われる様々な行事の中で、女性が中心となって活躍しているものはまだ少ないのが現状である。今後、ますます女性の活躍が期待されることから、このまま継続すべきである。また、これまで参加していなかった女性にも、参加してもらえる女性会議の内容となるよう、PRに努めて欲しい。

事務事業名	【少年リーダー研修】 社会教育課
評価	「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり) 児童の集団教育の場として貴重な機会であり、このまま継続すべき。
参考意見	児童が集団生活を通して主体性や協調性を学ぶ貴重な機会であり、今後も継続すべき事業である。少年団活動や町内イベント等により参加者が集まらないこともあると思うが、小学校の統合により、これまでよりは参加しやすい環境となっているのではないかと。より多くの児童が経験できるよう、ふるさと少年クラブ会員以外にも積極的に呼びかけを行い、参加を促して欲しい。

事務事業名	【芸術文化鑑賞協会交付金】社会教育課
※ 主管課評価	<p>「このまま継続」</p> <p>芸文協は、本来は社会教育行政が担う芸術文化振興という公共的役割を果たし、良質なナマの芸術文化の鑑賞機会を広く町民に提供している。</p> <p>地域の文化振興の振興のためにも芸文協への支援を今後も継続する。</p>
※ 内部評価	<p>「このまま継続」</p> <p>主管課評価のとおり</p>
外部評価	<p>「その他」</p> <p>チケットの販売に町内外用の区別が必要。</p>
理由	<p>町内者向けに販売したチケットを町外者も利用している状況がある。町からの交付金が使われている以上、町民向けチケットは町民が使用することが基本ではないか。購入者のモラルによるところが大きいが、チケットの色分けの検討や、販売の際の注意喚起を行う必要があるのではないか。</p>

事務事業名	【ふるさとセミナー】社会教育課
評価	<p>「このまま継続」（主管課・内部評価のとおり）</p> <p>地域の課題を学び、行動につながる人材育成のため、このまま継続すべき。</p>
参考意見	<p>町の活性化につながる人材を育成するため、学習機会の提供や支援は必要であり継続すべき事業であるが、セミナーの参加者が固定化されている。町民に身近な地域課題や行政課題の中から町民の関心が高く、必要性の高いテーマを設定するなど、新たな参加者の発掘に努めて欲しい。</p>

事務事業名	【ウルトラパークゴルフ大会実行委員会交付金】社会教育課
※ 主管課評価	<p>「このまま継続」</p> <p>22年度は参加者が137名で昨年度より若干増加したものの根本的な底上げにはなっていない。</p> <p>開催方法についても従来どおりの日程、競技内容で実施し町内参加の呼びかけを行った。</p> <p>コース数を増やし、より競技性の高いコースを組み合わせるなどコースのリニューアルを実施した。</p> <p>各地でのコース完備や諸大会の増加、参加者のチャンピオンスポーツ化、高齢化など様々な悪条件のなかで、国際公認コースとしての認可取得などパークゴルフ唯一の総理大臣賞にふさわしい大会になるようあらゆる工夫をしていかなければならない。</p>
※ 内部評価	<p>「このまま継続」</p> <p>主管課評価のとおり</p>
外部評価	<p>「内容を変更し継続」</p> <p>大会の方向性を見直しが必要。</p>
理由	<p>町内に宿泊施設が少なく、町外者からは一日での開催を望む声がある。また、大会参加者が少なくなった現状については、競技性が高く気軽に参加できる状況にはないことがあげられる。参加者を増やすため、競技性の高さだけでなく、多くの町民が楽しめる内容も含めた大会となるように大会の方向性を見直す時期が来ているのではないか。</p>

事務事業名	【ファミリースポーツセンター管理運営事務】社会教育課
評価	<p>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</p> <p>町民が安心して利用できるよう、このまま継続すべき。</p>
参考意見	<p>子どもの遊び方も多様化してきているが、子どもの遊びや運動の場としてスポーツセンターの教育的役割は大きい。しかし、町内公共施設の休館日が月曜日に集中しており、祝日で学校が休みになる月曜日に子どもが公共施設を利用できない状況がある。スポーツセンターに限ることではないが、公共施設の休館のあり方についての検討も必要ではある。また、建設から30年以上経過し、老朽化が見られることから、耐震対策についても早急な対応が必要ではないか。</p>

事務事業名	【地籍管理】農業委員会
評価	「このまま継続」(主管課評価・内部評価のとおり) 正確な地籍情報の管理が必要であり、このまま継続すべき。
参考意見	地籍調査が行われてから30年近く経過しており、畑や山林などでは調査ときに設置した境界石が確認できない場合もある。現地での場所特定には正確な座標が必要であり、今後も継続した管理が必要である。また、航空写真については23年度に更新されたが、正確な現況の把握のため今後も定期的な更新が必要である。

※評価調書のない事務事業について

事務事業名	【旧小学校の管理について】
参考意見	旧小学校周辺の環境整備については、地区ごとの実施方法が異なり、課題も抱えている。地域の分担で作業を進めているところもあるが、作業機械の有無や高齢化などから苦勞しているようだ。地域毎の学校に対する思い入れの違いはあるが、管理上の負担も大きく、今後の管理方法について検討を要するのではないか。

置戸町行政評価委員会委員

委員長 松田 親

副委員長 佐藤 年光

委員 柏原 勝

委員 木村 亜矢子

委員 佐藤 淳

委員 嶋谷 理恵

委員 鈴木 良吉